

平成14年におけるサンマ漁場形成

福島県水産試験場海洋漁業部
平成14年度事業報告書

1 部門名

水産業－海洋生産－サンマ
分類コード 19-01-31000000

2 担当者

水野拓治

3 要旨

本県サンマ標本漁船5隻の操業状況の記録等を用い、平成14年におけるサンマの漁場形成等を整理した。

- (1) 平成14年における全国のサンマ漁獲量(棒受網)は20.5万トンと前年の77%であった。一方、160円/kgと前年の153%の高い価格となったため、金額では前年の118%であった。
- (2) サンマ棒受網大型船(40トン以上)の漁場は、漁期当初より道東海域に形成され、11月上旬まで維持された。千島列島沿いのロシア200海里水域内ではほとんど漁場が形成されなかった。三陸沖での漁場形成は悪く、断続的であった。常磐沖での漁場形成は例年並みの10月下旬にみられ、その後12月上旬の終漁まで継続し、近年になく常磐海域での安定した漁場形成がみられた。
- (3) 平成14年の本県サンマ漁船の操業は、8月下旬から12月上旬まで行われた。平成14年の漁期は漁場への来遊資源量が少なかったが、高い価格に支えられ好漁となったことを反映し、操業当たりの漁獲量は少ないが着業が維持され、操業回数としては過去5年間で最大となった。

表 平成14年本県サンマ標本漁船の操業状況

項目	平成14年	平成13年	平成12年	平成11年	平成10年
1 隻当たり平均航海数	39.6	34.6	37.2	27.4	39.0
1 隻当たり平均航海日数	118.4	98.4	116.8	105.8	125.2
1 隻当たり平均操業回数	629.8	588.2	589.8	479.2	609.8
1 隻当たり平均漁獲量	1,234.9	1,653.9	1,088.6	701.0	907.2
1 操業当たり平均漁獲量	2.0	2.9	1.9	1.5	1.5

4 その他の資料等

なし